



豊東小だより

令和2年10月1日 10月号
練馬区立豊玉東小学校
校長 梅津 靖子

自分の生活と他者の生活を大事にする気持ち

校長 梅津 靖子

今晚は、中秋の名月。吹く風も涼しくなり、秋が日増しに深まっていくようです。ただ、季節の変わり目は、体調を崩しやすい時でもあります。早くに始まった2学期は、日々の学習とミニ運動会に向けた体育の学習とで、あわただしさもあり疲れもたまりやすかったのではないかと思います。明後日のミニ運動会には元気に参加できるよう、夜は早めに休むなどの体調の管理に、ご家庭でもご協力をお願いします。

さて、今年のミニ運動会のテーマは、「こんなときでもあきらめな 豊東」です。このテーマは、各学年から集められた言葉から、代表委員が選び、まとめて決めたテーマです。新型コロナウイルス感染症の影響は、学校生活でも様々な制限をもたらしました。新しい生活様式が始まって半年を過ぎましたが、今もお、その取組を緩めることができません。体育の時間も、大きな声を出さない、友達と十分に間を空けて運動するなど気を付けることがたくさんあり、一人一人が感染予防を意識して活動しなくてはなりません。ですから、これまでのような運動会の取組はできませんでした。体育の時間でできることに限った練習です。当日も、全校が集まって互いの頑張りを応援し合うこともできません。しかし、こんなときでも、「あきらめない」という強い思いと決意を、今できることに精一杯取り組む姿、学級・学年というチームのためにという思いをもち、一人一人が全力を出しきる姿できっと披露してくれることでしょう。保護者の皆様には、未だ感染の収束には至っていないことから、各家庭2名という人数制限の中での参観をお願いしているところですが、参観の際には、保護者の皆様の大きな拍手で、子どもたちの頑張りを大いにたたえ励ましていただきたいと思います。ご協力をよろしくお願いいたします。



美化委員会

さて、9月から委員会活動が始まりました。高学年の児童は、それぞれの委員会活動に責任をもって取り組んでいる様子が見られ、ようやく本来の学校の姿になってきたと感じます。これまで教員が行っていた体育館や水道の蛇口の消毒作業は、家庭用洗剤を使って美化委員会の児童が行っています。チームで手際よく作業していて、安心して任せることができます。また、代表委員会の挨拶運動も始まりました。すすんで挨拶をする児童が少ないことに改めて気付き、どうすれば挨拶ができるようになるのかを真剣に考えています。さらに、清掃の時間に校内の様子を見てみると、2年生の教室で、3年生が2年生と一緒に掃除をしていました。何人かの3年生の児童が、「お掃除お助け隊」として、2年生の清掃のお手伝いをしているのだそうです。「時間が空いている時には、お手伝いしよう。」と自分たちで考えて決めたのだそうです。その3年生の働きぶりに合わせるかのように、2年生も懸命に清掃に取り組んでいます。委員会活動であれ、清掃活動であれ、自分たちの生活を自分たちでつくるという意識をもち、その気持ちを行動に移すことができる力は、本当に素晴らしいものだと思います。なんと頼もしい豊東の子どもたちでしょう。自分中心に物事を考えてしまうことが多い中で、学校のために、下級生のために、自分たちのできることを考えて実行することは、そうそうできることではありません。こういった行動を、学校中に広めていきたいものです。



清掃活動

【感染予防対策・音楽の時間】



教科指導の中で、最も制限が多いのが音楽の時間ですが、練馬区のガイドライン(密を避ける・近距離での演奏をしない)に沿ってリコーダーの学習に取り組み始めました。4年生以上の学年です。教室を二つに分け(第二音楽室を利用)、友達との間隔を十分に取り、短時間での練習をしています。リコーダーは家に持ち帰って洗ってくることにしています。